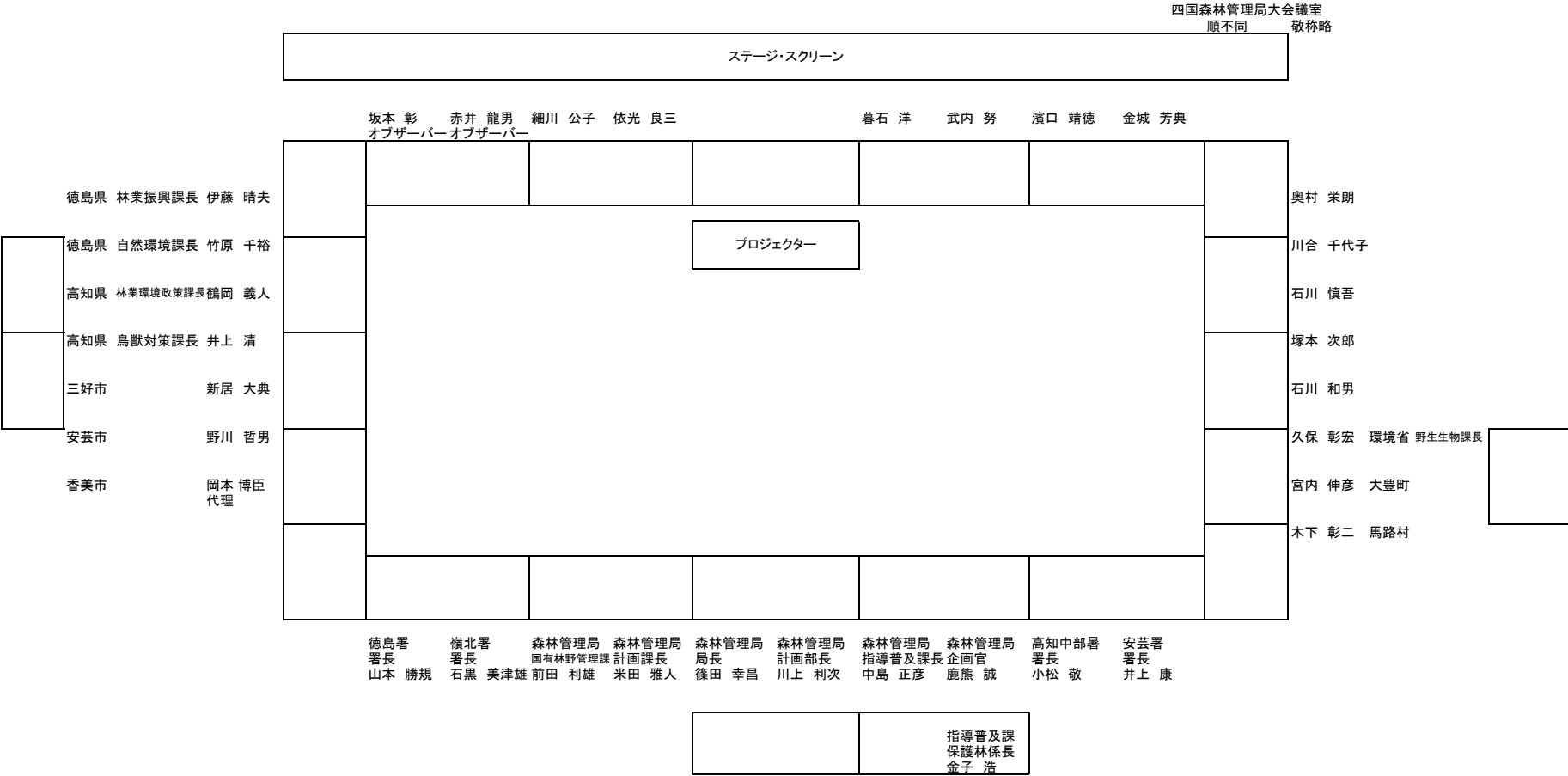


「野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル」連絡会議出席者名簿 順不同

第1回 平成21年6月30日

氏名	所属	職名	備考	出欠
伊藤 晴夫	徳島県林業飛躍局	林業振興課長	関係県	出
竹原 千裕	徳島県環境総局	自然環境課長	関係県	出
鶴岡 義人	高知県林業振興・環境部	林業環境政策課長	関係県	出
井上 清	高知県文化生活部	鳥獣対策課長	関係県	出
新居 大典	三好市	農林振興課長	関係市町村	出
石本 晴良	那賀町	環境課長	関係市町村	欠
野川 哲男	安芸市	農林課長	関係市町村	出
岡本 博臣	香美市	林政課長(物部支所)	関係市町村	代理
木下 彰二	馬路村	産業建設課長	関係市町村	出
宮内 伸彦	大豊町	産業建設課長	関係市町村	出
久保 彰宏	環境省中国四国地方環境事務所	野生生物課長	行政(鳥獣保護)	出
石川 和男	松山東雲女子大学	名誉教授	動物	出
塚本 次郎	高知大学農学部	教授	森林	出
石川 慎吾	高知大学理学部	教授	植物	出
川合 千代子	千秀水環境もやい研究所	代表	環境	出
奥村 栄朗	(独)森林総合研究所四国支所	チーム長	野生動物	出
金城 芳典	(特)四国自然史科学研究センター	副センター長	野生動物	出
濱口 靖徳	(社)徳島県猟友会	会長	狩猟(徳島県)	出
武内 努	(社)高知県猟友会	理事	狩猟(高知県)	出
暮石 洋	(特)三嶺(ミナ)の自然を守る会	理事長	団体(徳島県)	出
東條 秀徳	野鳥の会徳島県支部	研究部長	団体(徳島県)	欠
依光 良三	三嶺(サルイ)の森をまもるみんなの会	代表	団体(高知県)	出
細川 公子	高知県自然観察指導員連絡会	副会長	団体(高知県)	出
オブザーバー				
赤井 龍男	京都大学	元助教授	森林	出
坂本 彰	三嶺(サルイ)の森をまもるみんなの会	副代表	団体(高知県)	出
篠田 幸昌	四国森林管理局	局長		
川上 利次	四国森林管理局	計画部長		
米田 雅人	四国森林管理局	計画課長		
前田 利雄	四国森林管理局	国有林野管理課長		
中島 正彦	四国森林管理局	指導普及課長		
鹿熊 誠	四国森林管理局	企画官(自然再生)		
山本 勝規	徳島森林管理署	署長	関係署	
石黒 美津雄	嶺北森林管理署	署長	関係署	
小松 敬	高知中部森林管理署	署長	関係署	
井上 康	安芸森林管理署	署長	関係署	

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業連絡会議 席配置図



野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業
四国山地緑の回廊（剣山地区）モデル地域実施方針(案)

作成 平成 年 月 日
変更 平成 年 月 日

1 対象地域等

(1) 対象とする地域

① 関係市町村名及び該当森林管理署

徳島県 三好市、那賀町

高知県 香美市、安芸市、大豊町、馬路村

徳島、嶺北、高知中部、安芸の各森林管理署

② モデル地域面積（うち国有林面積）

四国山地緑の回廊（剣山地区） 9, 6 6 3 h a

関係保護林 9 0 5 h a

計 1 0, 5 6 8 h a

（うち国有林野面積 1 0, 5 6 8 h a）

(2) 野生鳥獣の生息環境等を整備するにあたり、特に着目すべき鳥獣

ニホンジカ（、ツキノワグマ）

(3) 野生鳥獣との共存に向けた目標

被害森林を含めた森林生態系の保全・再生とニホンジカの健全な生息を保障する（ニホンジカの個体群を安定的に維持し、被害を一定水準に抑制すること）ため、生息状況の把握や個体数管理による中長期的な観点からの生息環境の保全・整備を行う。

2 事業内容

(1) 野生鳥獣生息状況等の調査

① ニホンジカの生息環境調査

植生等の被害状況等の調査

② ニホンジカの動態調査

季節移動等生息調査

(2) 地方自治体、NPO等との連携体制の整備

① 体制 連絡会議

環境省、自治体、学識経験者、NPO等関係者

② 内容 連携・協働の強化

共通認識の形成、役割分担等

生息環境調査、動態調査等、対策の内容の調整等

(3) 野生鳥獣との共存に向けた対策の実施

① 被害跡地の再生

防護柵等の設置、植生回復調査、防護柵の見廻り等管理業務

② 生息環境整備

生息環境調査、動態調査の結果等を踏まえて、針広混交林化、広葉樹林化などモデル的に整備。

(4) 年次計画

項 目	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	25 年 度	備 考
① 野生鳥獣生息状況等の調査 ニホンジカの生息環境調査		←→				被害調査を含み、徳島 県側、高知県側で実施
ニホンジカの動態調査		←→				発信機を付けて移動範 囲等を把握
② 地方自治体・NPO等との連携 体制の整備		←→				3回/年開催し、調査結 果等に基づく対策方針 等を検討
③ 野生鳥獣との共存に向けた対策 の実施 防護柵等の設置		←→				植生回復調査の結果等 を踏まえ実施
植生回復調査		←→				防護柵等の効果等を検 証し、新たな対策につ いて検討
管理業務		←→				設置した防護柵のメン テ及び入林者等への注 意喚起等を実施
生息環境整備		←→				生息環境調査、動態調 査の結果等を踏まえ、 野生鳥獣との共生に向 けた森林整備(針広混交 林化、広葉樹林化などモ デル的に整備)

④ 森林整備事業との連携		5年間の計画量
主伐面積（人工林） （天然林）	0 h a 0 h a	
間伐面積（人工林） （天然林）	887 h a 0 h a	
更新面積（人工林） （天然林）	21 h a 0 h a	前計画伐採、更新
保育面積（人工林） （天然林）	190 h a 0 h a	I～IV齢級の面積 （一部V、VI齢級を含む）

(5) その他
なし

3 実施予定箇所の概要（平成21年6月30日 時点）

実施予定地の概要 （対策を必要とする理由・状況）	「四国山地緑の回廊」の剣山地区の徳島県側においては、平成9年度頃からニホンジカの生息数の増加傾向が確認され、それに伴う林床植物の食害や天然幼齢木の食害などの被害が顕在化。 また、高知県側においても、同時期頃(平成10年度)からニホンジカによるササやモミをはじめとする天然幼齢木への食害や区域内に生育している希少種のキレンゲショウマ、ハイイヌガヤなどの食害が顕在化。
地域やNPO等からの国有林への要望内容	三嶺の森をまもるみんなの会 防護柵等の設置、報告会、シンポジウム 四国4県知事会：「ニホンジカの食害防止対策について」要望書を提出 四国正副議長会：「ニホンジカの食害防止対策について」要望書を提出 高知県香美市：「三嶺周辺の有害獣対策の実施について」要望書を提出
これまでの国有林の野生鳥獣対策等の状況	四国局では、関係県、地元NPO等と連携・協働により防護ネットの設置などの対策を講じるとともに、野生生物の生息、移動状況や森林施業との関係についてのモニタリング調査を実施。

関係機関による野生鳥獣対策の状況	環境省中国四国環境事務所： 生息状況等調査、ニホンジカ対策調査 徳島県： 生息密度推定調査等 高知県： 個体数調整事業等 三嶺の森をまもるみんなの会： 防護柵等の設置、植生回復調査（高知大理学部） 四国4県連携施策： 「ニホンジカ生息状況調査」（国有林外）
地域の鳥獣対策にかかる法定計画の策定状況	徳島県： 徳島県ニホンジカ保護管理計画（平成19年4月） 高知県： 高知県ニホンジカ保護管理計画（第2期（平成20年4月））
モデル地域の法規制等の現状	鳥獣保護区（国設）（特別保護地区を含む） 剣山国定公園、史跡名勝天然記念物 水源かん養保安林、保健保安林
区域内に含まれる保護林・緑の回廊の名称と面積、被害状況や保護対策等	西熊山植物群落保護林、石立山植物群落保護林、檜戸林木遺伝資源保存林、千本山林木遺伝資源保存林、千本山植物群落保護林、魚梁瀬林木遺伝資源保存林、横荒山林木遺伝資源保存林、四国山地緑の回廊（剣山地区） モデル地域と一致 事業内容等と一致

野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備モデル事業
四国山地緑の回廊(剣山地区)モデル地域
位置図

